



学校教育目標 「自ら考え行動し、仲間とともに豊かな社会をつくる」
～つながる力・まなぶ力・つくる力～

No.9

庄内西小学校だより

令和6年(2024年)7月9日発行

校長 黒木 優一



カラー版は『<http://www.toyonaka-osa.ed.jp/cms/shonai-n/>』をご覧ください

【第1回学校評議員会を開催しました】

6月末に第1回学校評議員会を開催しました。本校では年2回ほど学校評議員会を開催し、学校の教育活動について保護者(代表)の方や地域の方に説明したり、意見をいただいたりして本校の教育活動に生かしています。



《学校評議員会とは…》

保護者や地域住民の意向を把握し、学校運営に反映させることにより、開かれた学校づくりを進めるために、校長が開くもの。

《学校評議員会の目的》

- ◇学校の教育目標・方針など教育計画について説明し、学校と地域社会との連携の進め方など多様な観点から意見交換を行うことにより、学校に対する理解と信頼を深めること
- ◇学校評議員会において出された意見等を把握し、その内容を教職員に伝え、教育活動等の参考とすること

《令和6年度庄内西小学校学校評議員のみなさま》



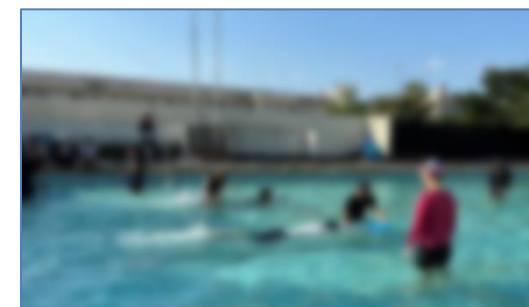
《会議の内容》

- 本年度の取り組みについて校長から説明
 1. 学校経営方針(本校の現状と課題)
 2. 本年度の主な行事予定
 3. 庄内よつば学園開校に向けて
- 意見交換
 - ・地域の方がどのように学校の教育活動に参加していただけるか
 - ・庄内よつば学園について ・閉校行事について
 - ・委員のみなさまからの質問

いただいたご意見は教職員間で共有し、学校の教育活動に生かしてまいります

【教職員水泳研修】

水泳指導がはじまりました。コロナ禍で3年間水泳の授業がなかったことも影響しているのか、最近の子どもたちの泳ぐ力には非常に大きな個人差が見られます。指導する教師も「今まで通りのやり方で本当に子どもたちに泳ぐ力をつけることができるのか。」という課題をつきつけられていました。



そこで、今回、(株)コナミスポーツクラブのスイミングインストラクターの方をお招きして、教職員水泳研修を行うことにしました。「水泳が苦手な子への指導方法」や「効果的な補助の仕方」などを専門的に教えていただきました。ありがとうございました。

研修はウォーミングアップの仕方からはじまり、お互いが教師役-生徒役になって補助の仕方を練習しました。指導方法だけでなく、「一人ひとりていねいに補助することの大切さ」や「補助する教師も水中で精力的に泳いで汗をかくことの大切さ」を教えていただいたことは、先生たちにとっても大きな学びとなりました。(個人的には『クロールの手のかきかた』は「肘をまげなくてもよい」など、昔と指導方法が変わっていたのも勉強になりました。)

【水泳指導の様子】

先生たちは研修で学んだことを授業の中で生かしながら指導を行っています。水泳が上手になるだけでなく、上手になる喜びを知って『水泳が好きな子』がたくさん増えてくれるとうれしいです。



【水泳指導における児童の安全管理体制について】

先週、高知市内の中学校のプールで水泳の授業中の小学校児童が溺れて亡くなったというとても悲しい事故が起こりました。本校では、教職員水泳研修でインストラクターの方にアドバイスをいただいたことをもとに、水泳指導において以下のような児童の安全管理体制をとっております。ご理解のほどよろしくお願いいたします。

- ・どの時間帯においても、6名体制で指導(監視役として陸上に2名の教師を配置)
- ・バディシステム(2人1組をつくり、互いに相手の安全を確かめさせる方法)をとり、こまめに練習時間を区切ることでお互いの安全を確認する機会を多く設ける
- ・見学者においても、熱中症対策をとりながら無理のないように見学する